

平成28年度
決算報告書

第5期

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

公立大学法人 公立鳥取環境大学

平成28年度 決算報告書

公立大学法人 公立鳥取環境大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,025	1,025	1	
自己収入	790	792	2	
授業料及び入学金、検定料収入	756	761	5	
財産収入	7	7	0	
雑収入	27	24	△ 3	
受託共同研究等収入	5	33	28	(注1)
寄附金収入	843	591	△ 252	(注2)
補助金等収入	18	14	△ 4	
目的積立金取崩	22	-	△ 22	(注3)
計	2,703	2,455	△ 248	
支出				
教育研究経費	568	510	△ 58	(注4)
一般管理費	154	130	△ 23	(注5)
人件費	1,117	986	△ 131	(注6)
受託共同研究等経費	5	33	28	(注7)
寄附金事業費	842	591	△ 251	(注8)
補助金等事業費	17	14	△ 3	
計	2,703	2,263	△ 439	

※金額は百万円単位で表記しているため、合計欄に端数処理の影響が出ているものがあります。

○ 予算と決算の差異について

- (注1、7) 当初予定していなかった大型案件(13百万円)の事業等を受託しました。又、補助金事業として予定していた事業(3百万円)が受託事業に変更されました。
- (注2、8) 新講義棟建築工事の工事出来高が予定より低かったことなどから、支出並びに寄附金の収益化額が252百万円少なくなりました。尚、平成29年度中の竣工予定に変更はありません。
- (注3) 経費縮減に努めた結果、支出が減ったことから、目的積立金の収益化を行いませんでした。
- (注4) 事業規模の見直し等経費縮減に努めた結果、58百万円の支出が不用となりました。
- (注5) 石油価格の下落により、電気・ガス料金が予想を下回りました。又、経費の縮減に努めた結果、23百万円の支出が不用となりました。
- (注6) 当初の人員配置計画に比べ採用が少なかったことから、131百万円の支出が不用となりました。

○ 損益計算書と決算報告書の集計区分の差異について

損益計算書では、寄附金及び間接財源を利用する費用は業務費の各区分に計上されていますが、決算報告書では、受託共同研究等経費、寄附金事業費及び補助金等事業費に計上されています。